

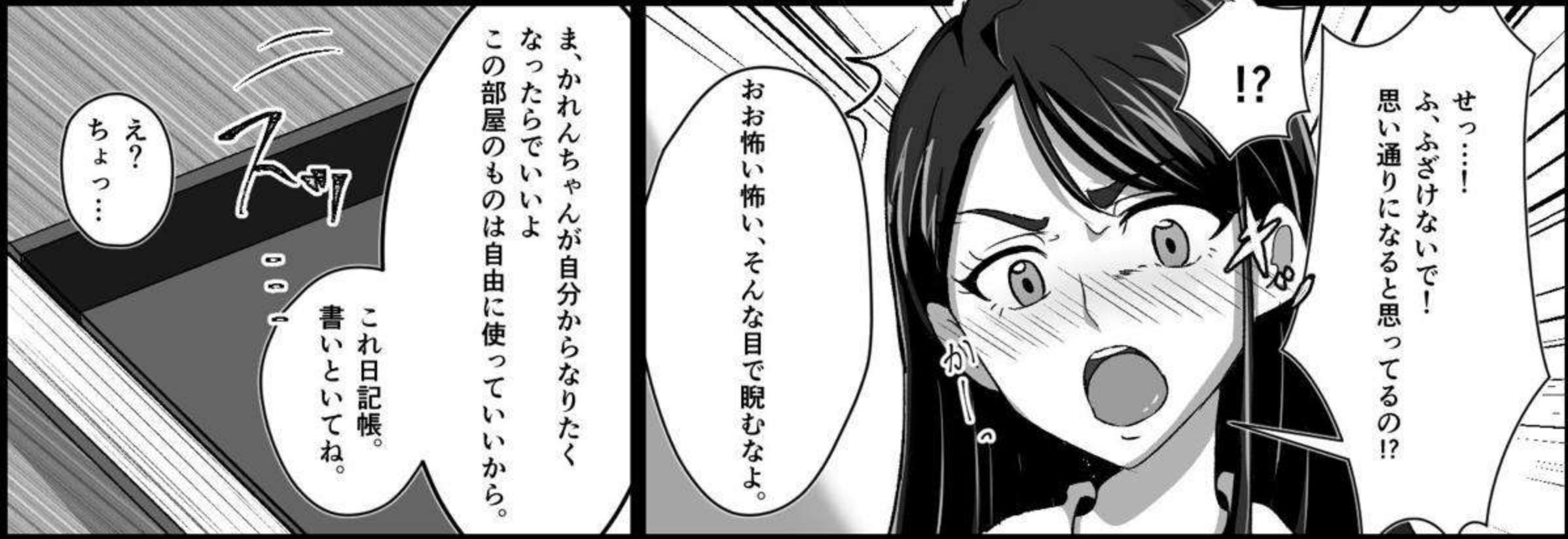
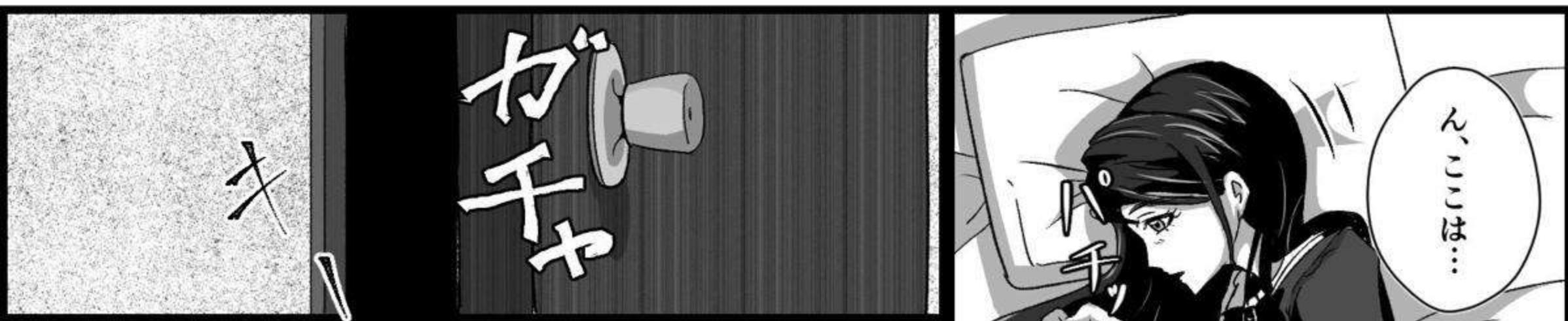


魔
禁
禁
禁
禁
禁
禁
禁
禁
禁
禁
禁

..氷
月
か
れ
ん

R-18 g

今回のターゲットはこちら！

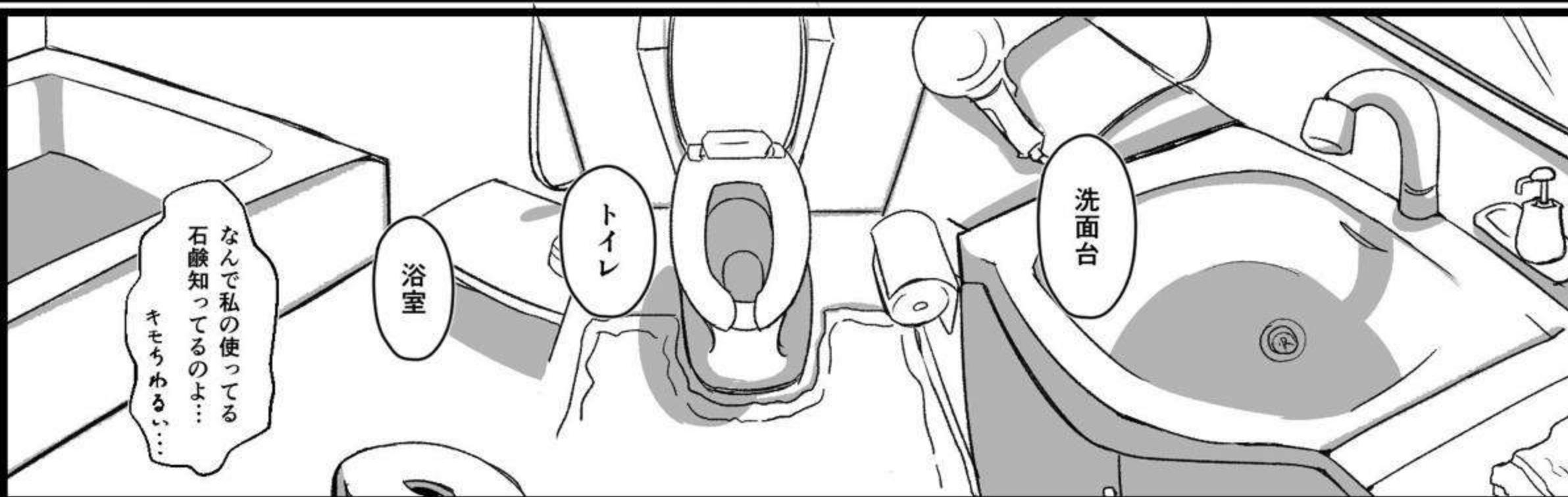


それじゃ、また明日来るから。



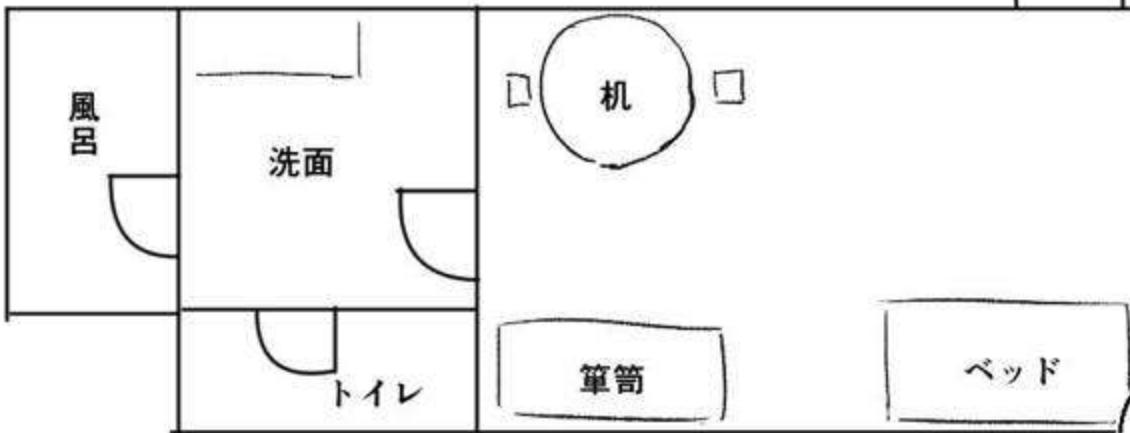
もう一つのドアは…

チラ



つまり、「食べ物がほしかったら従え」
あの男が言ったのはそういうこと…?

…そんな娼婦みたいな真似、絶対にごめんよっ
水だけでも一ヶ月は生きられる、
その間に助けが来るはずよ



こんなちっぽけなカミソリじゃ
武器にもならないわ

ふうん、生活するうえで必要なものは
食事以外、一通りそろっているってわけね…

だから、
きっと大丈夫…



二日目



つ!
な、何の用?

おはよー



四日目



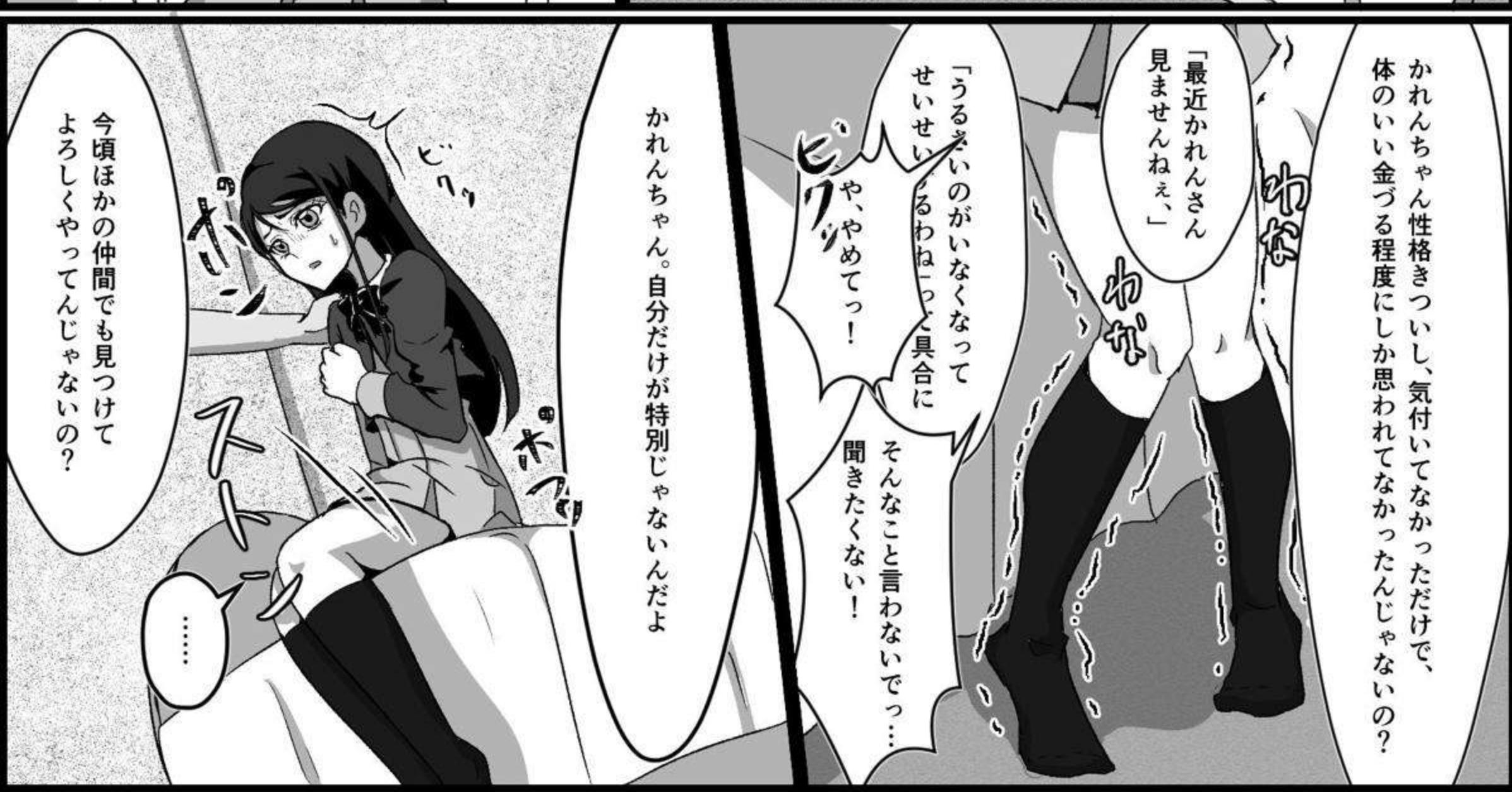
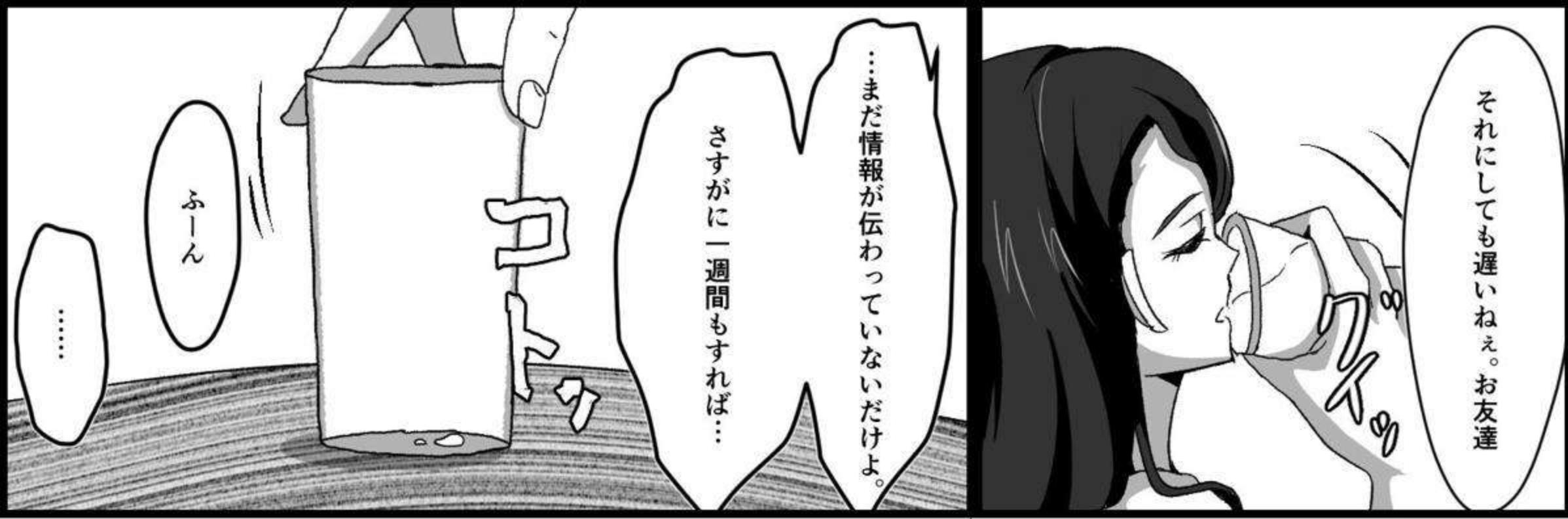
へー。
じゃあ早く助けに来るといいね

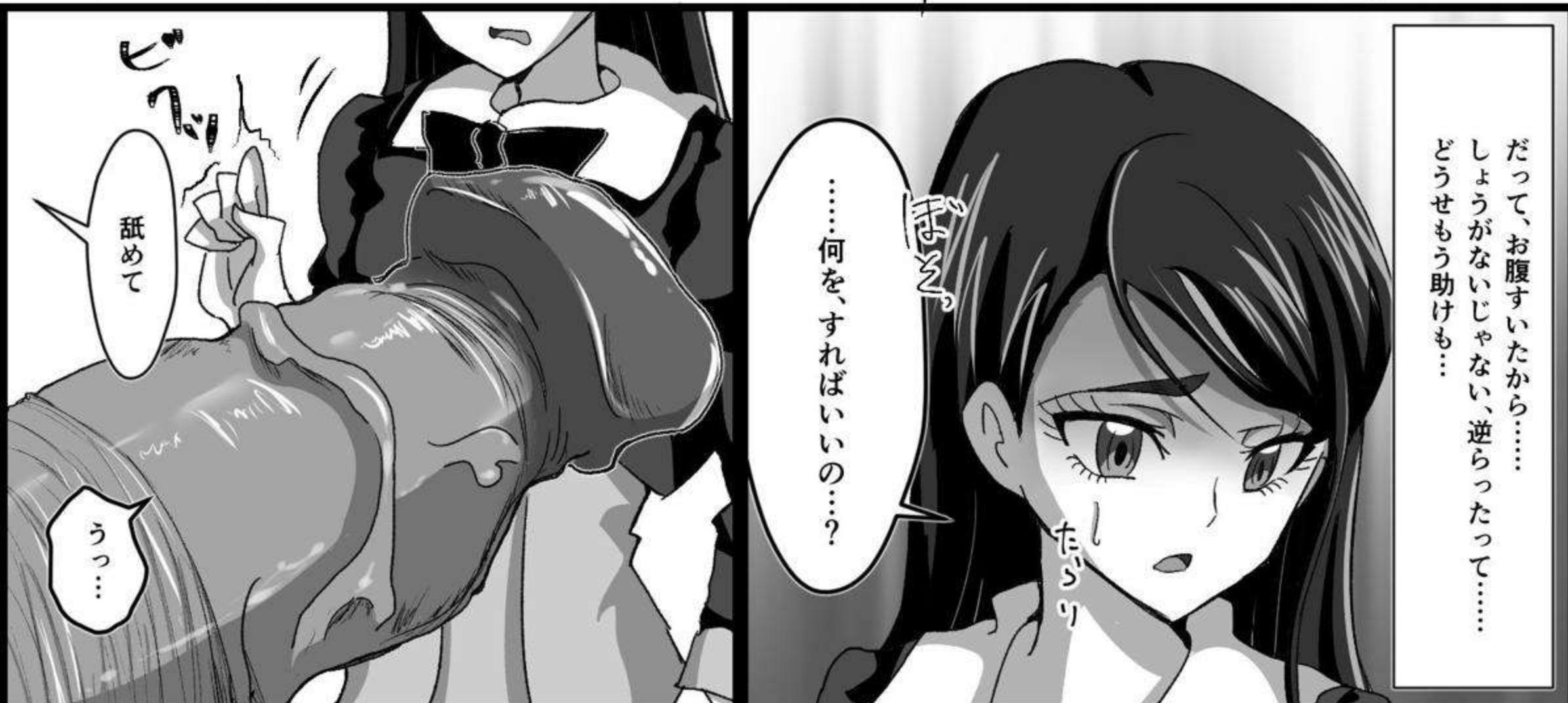
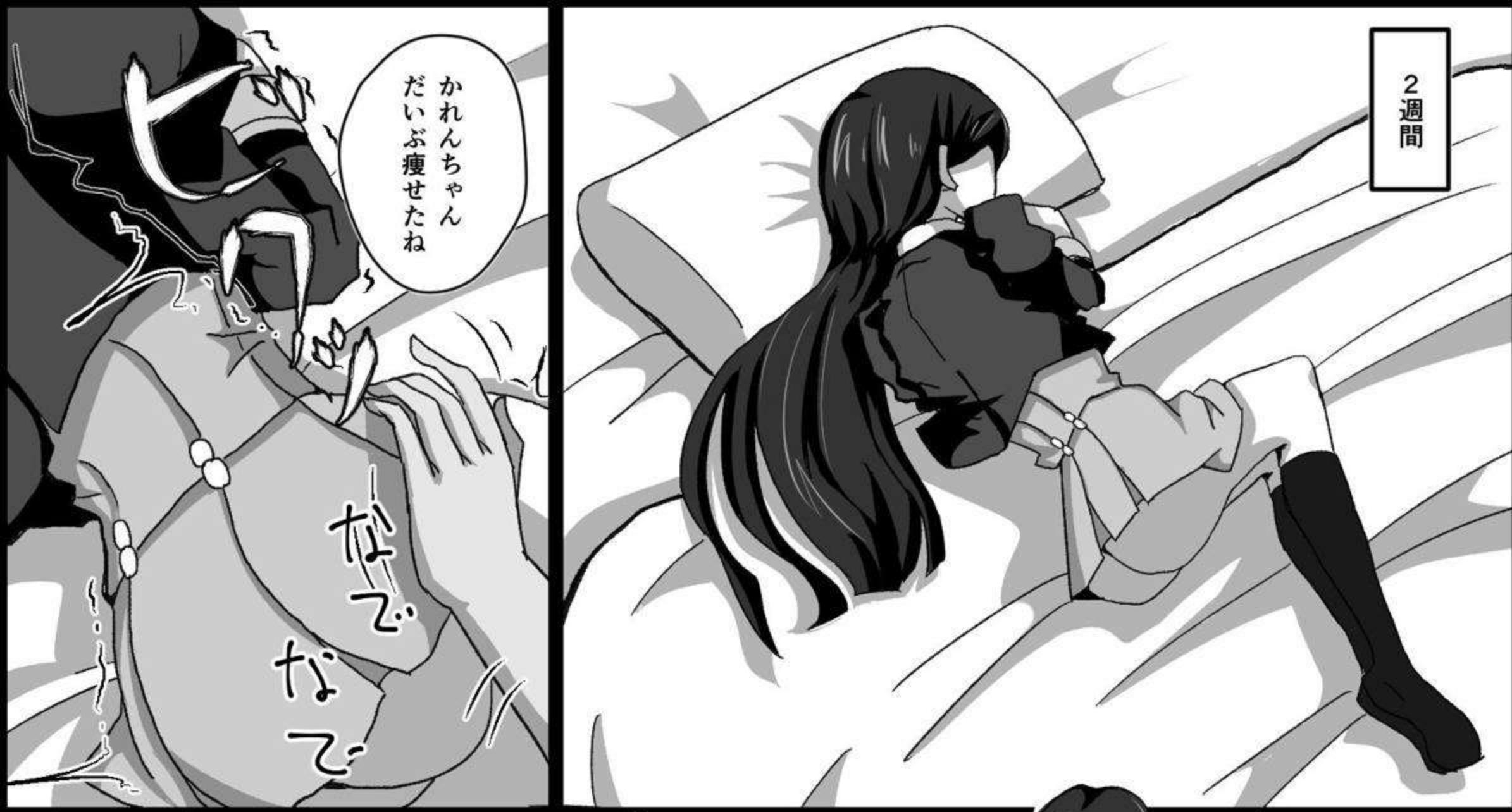
ふんっ!

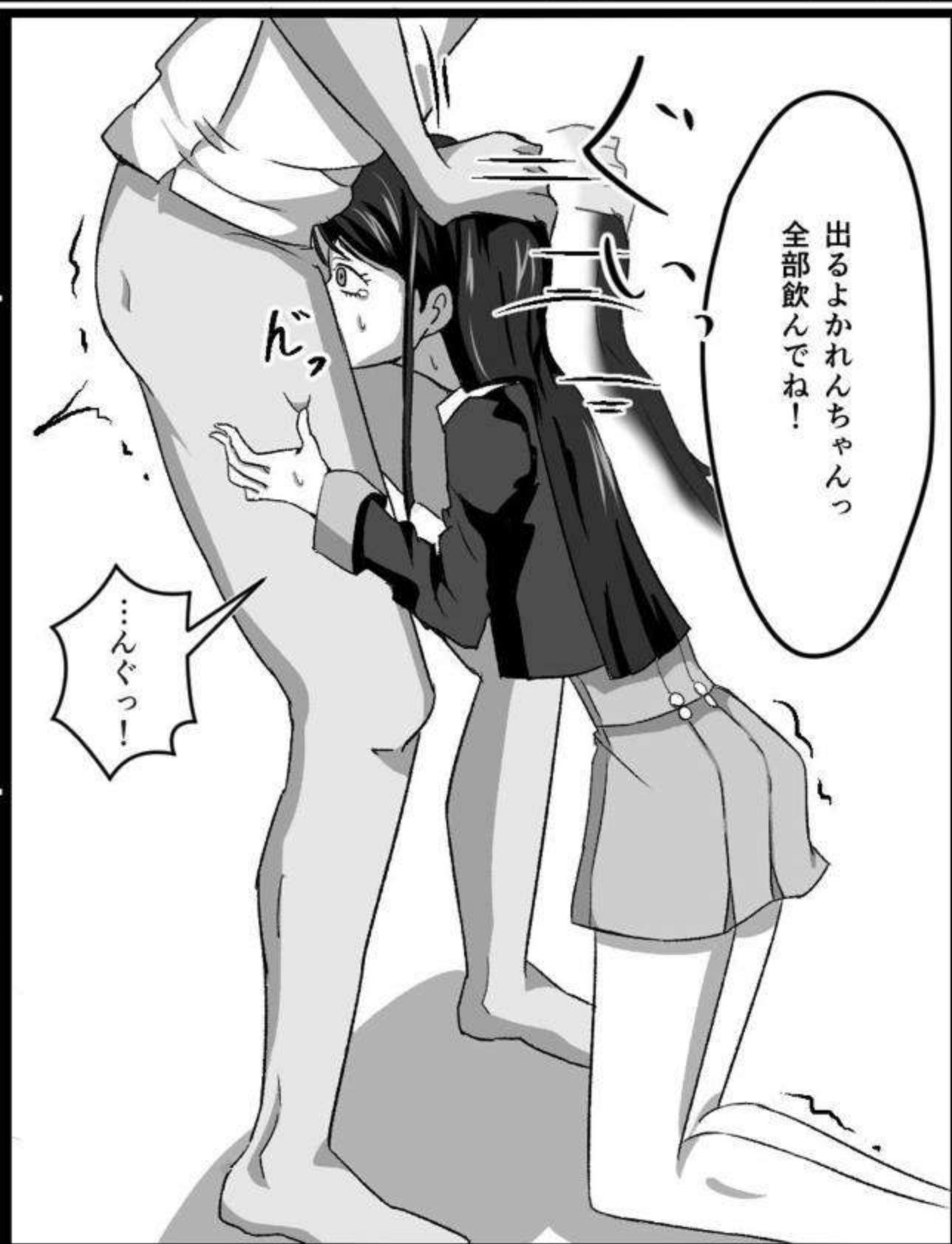
おつとと



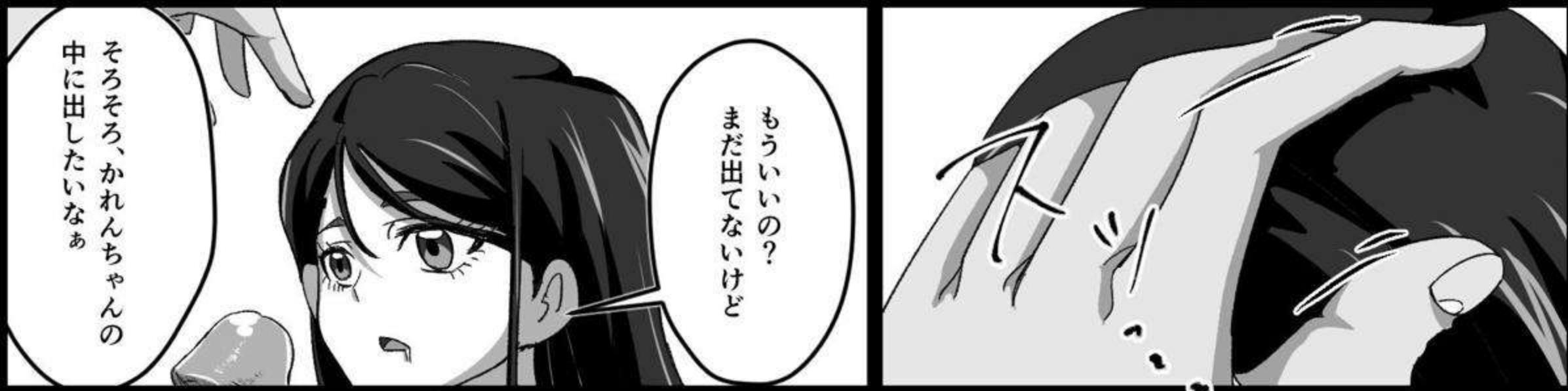
それにしても遅いねえ。お友達





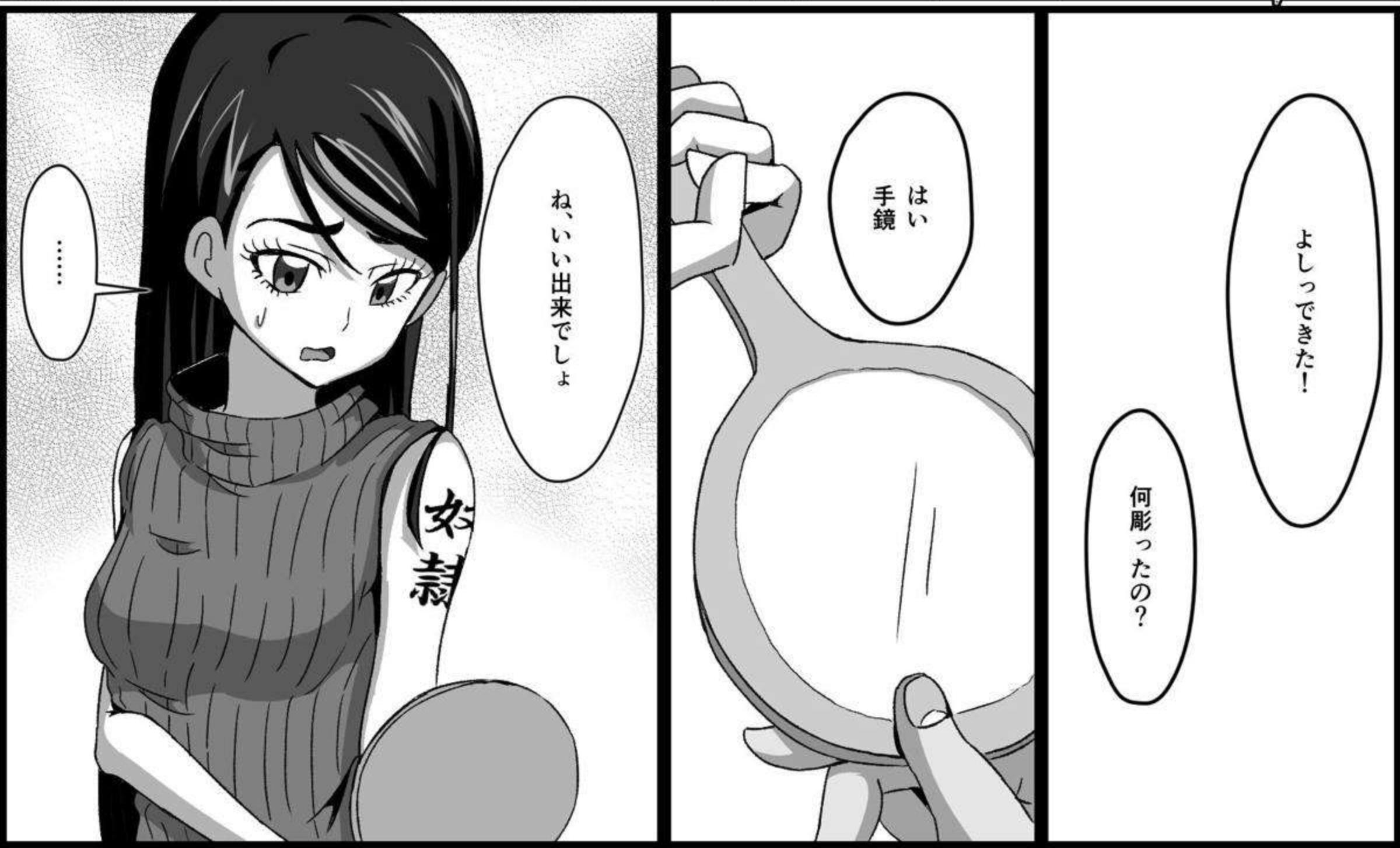








30日目：今日



50日

本庫未深い



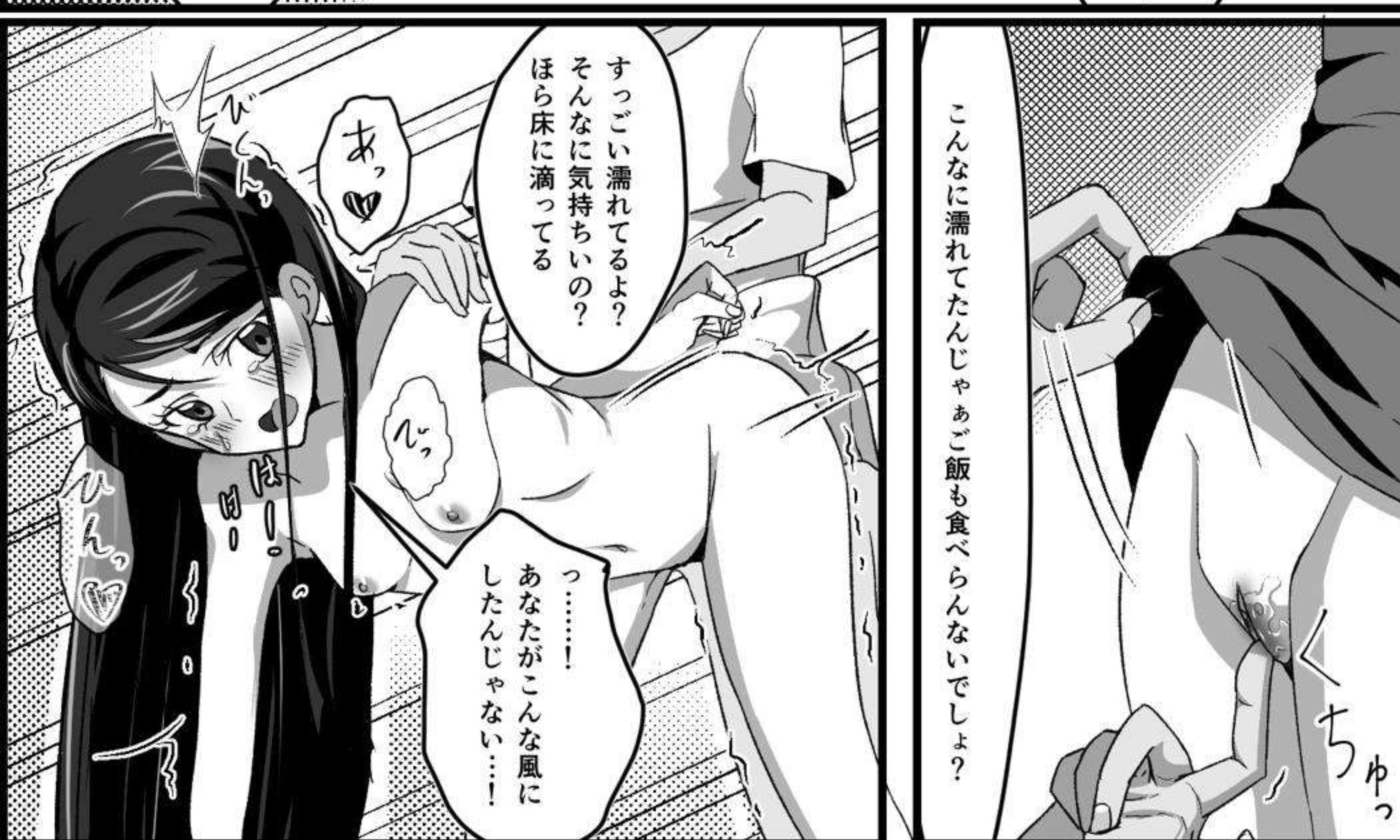
どうぞっ



でもその前に

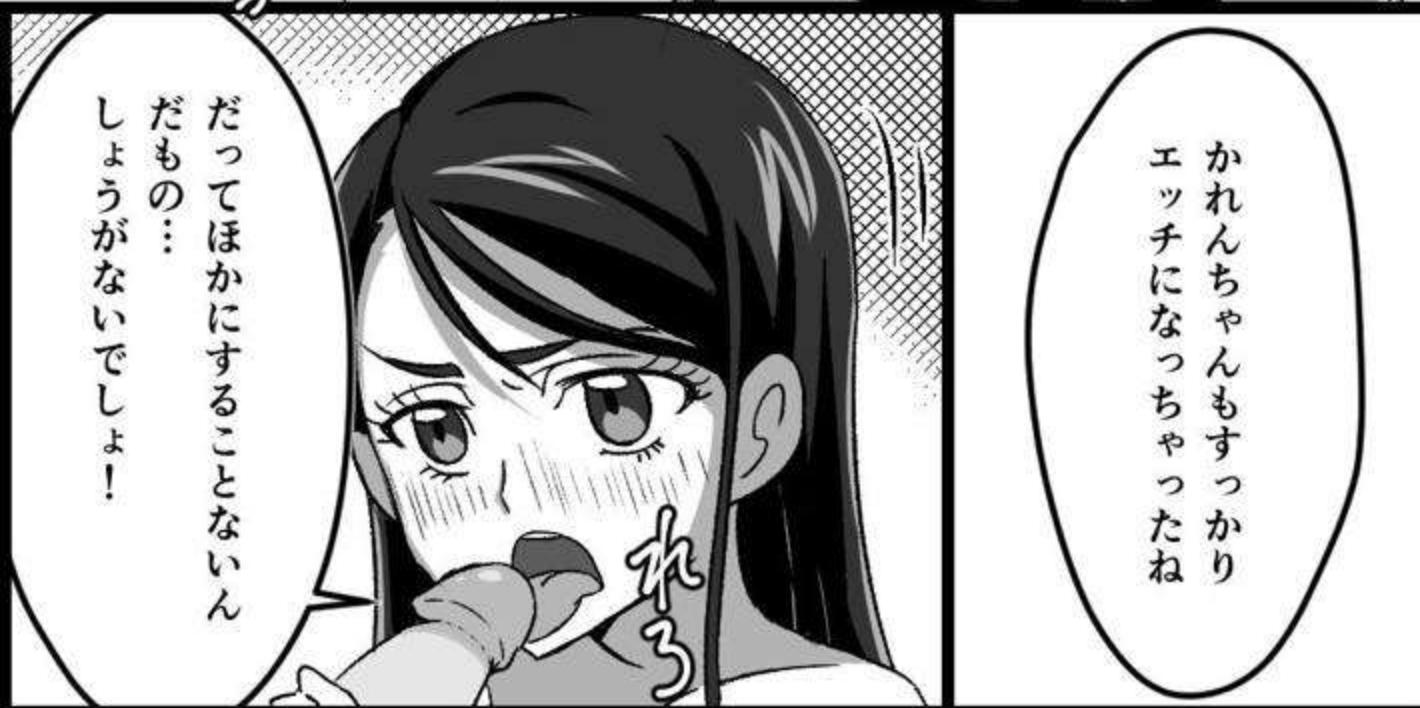
ええ

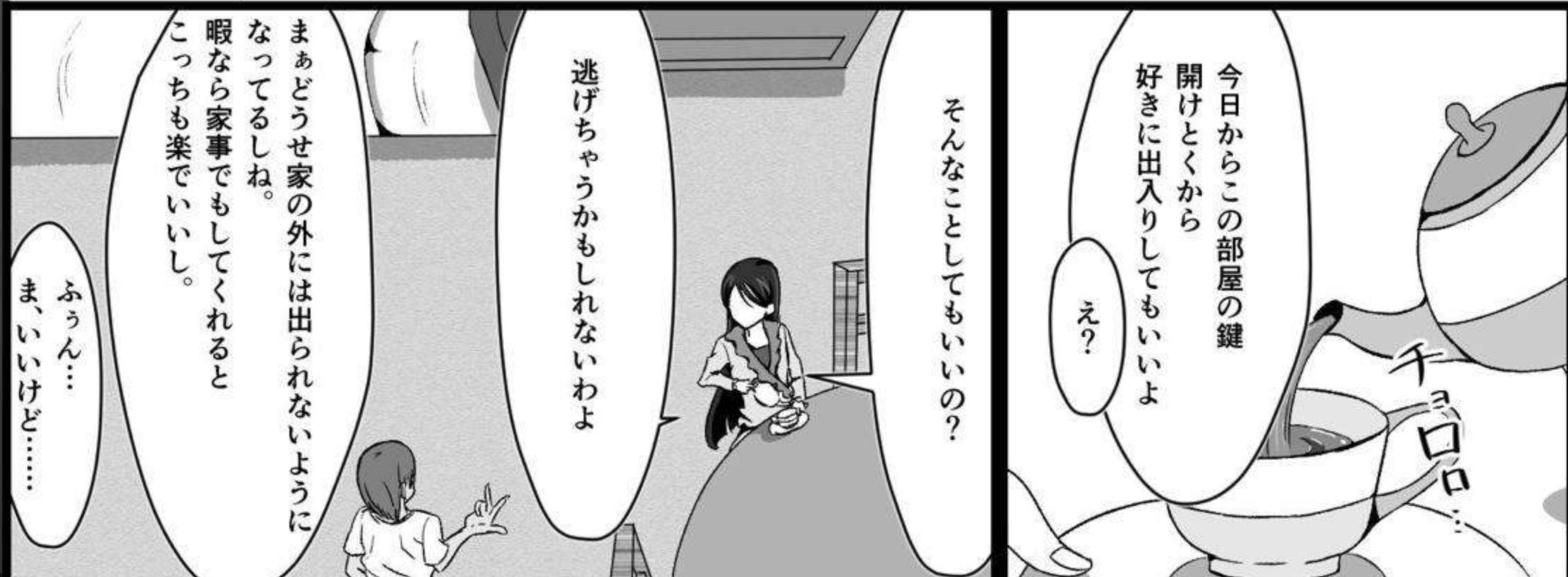
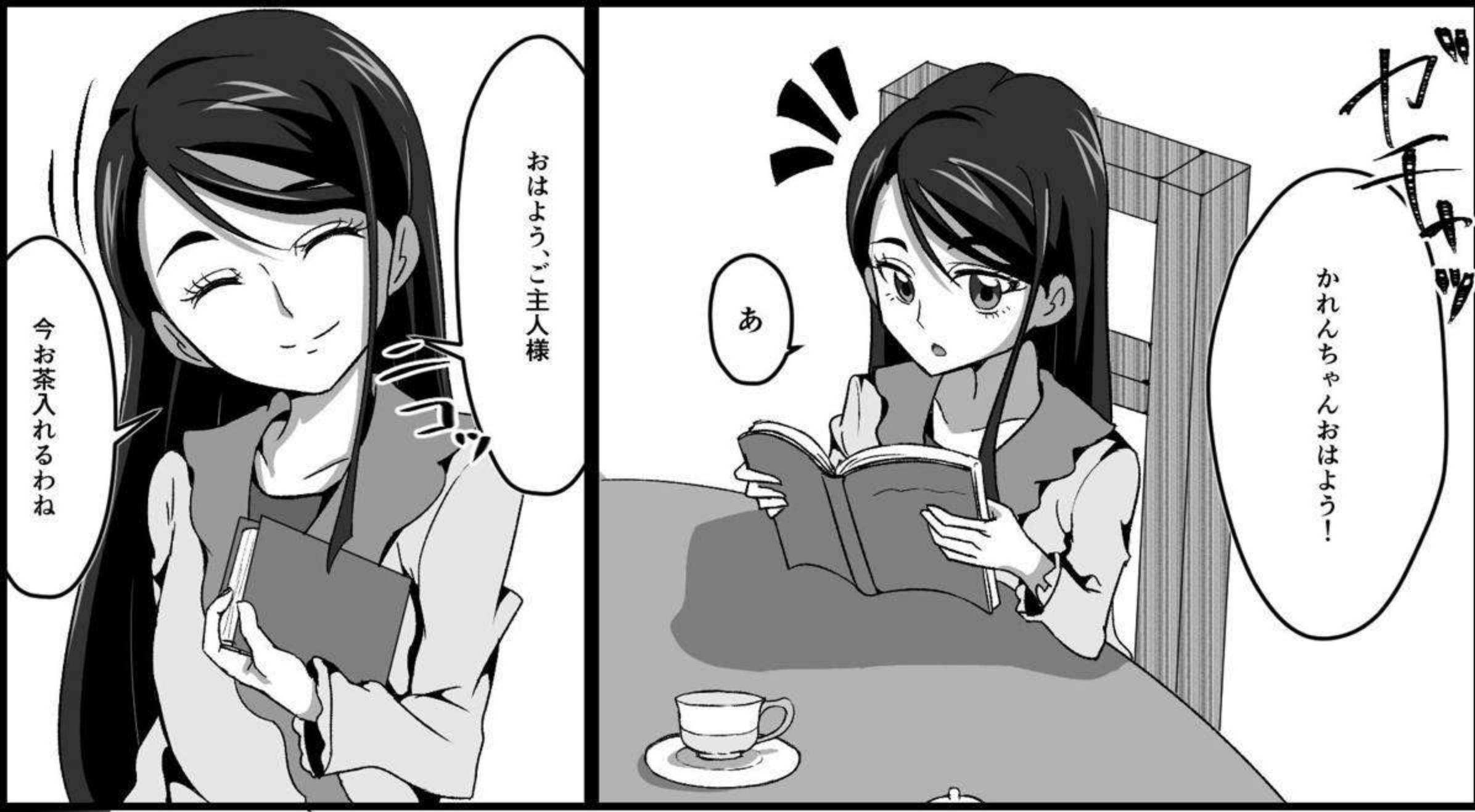
そう?
じゃあごはんに
しようか





出すよっ
かれんちゃん！受け止めてね！





でも、もう平気よ
だって友達ができたから

私の大切な友達

……そう思っていたのは
私だけだったの？



掃除でもしようかしら…

もしそうならきっとそれは
すごく寂しかったのかもしれない。
ずっと

あの人があたり触れ合ったり
するのは私だけ…

お金とかどうしてのかしら?
お仕事は?友達とかもいなかしら?
時折来る宅配?みたいなもの
事務的なやり取りだけだし…

部屋の外に出てしばらく家事をしたり、
ある程度自由にしてみて分かった
けど、ご主人様って出かけたりしないで
一日中家にいるみたい…



もう！
その話はいいでしょ！

ずいぶん上達したね、
初めのころは……

ご主人様、
ごはん出来たわよ
おお、おいしそうだな。

どうぞ
開けてもいいかしら？

ありがとう……
すっかり忘れてたわ

誕生日プレゼント

あ、そうそう、これ

一生……

そうそう、かれんちゃんは一生奴隸だから
その証としてね

チヨーカー？

そんなことよりそれ、つけてよ

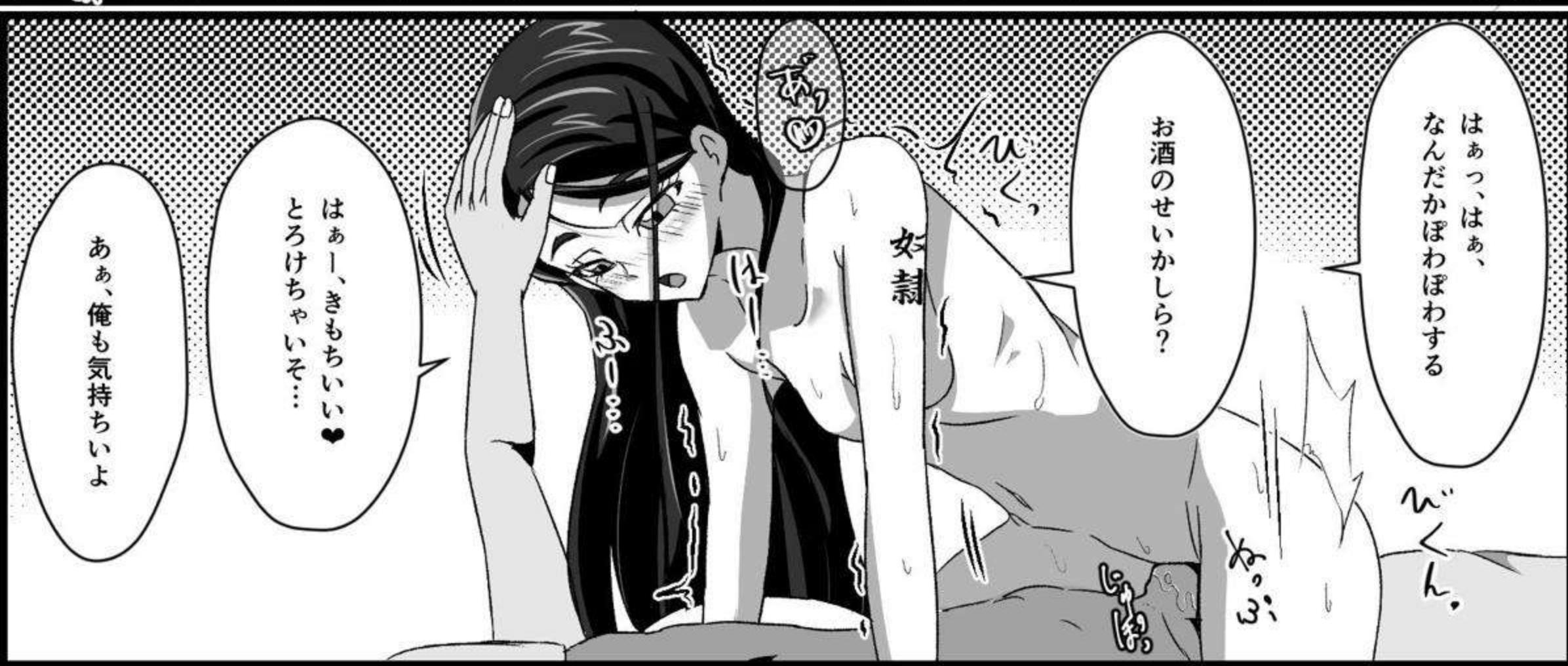
…そうよね！

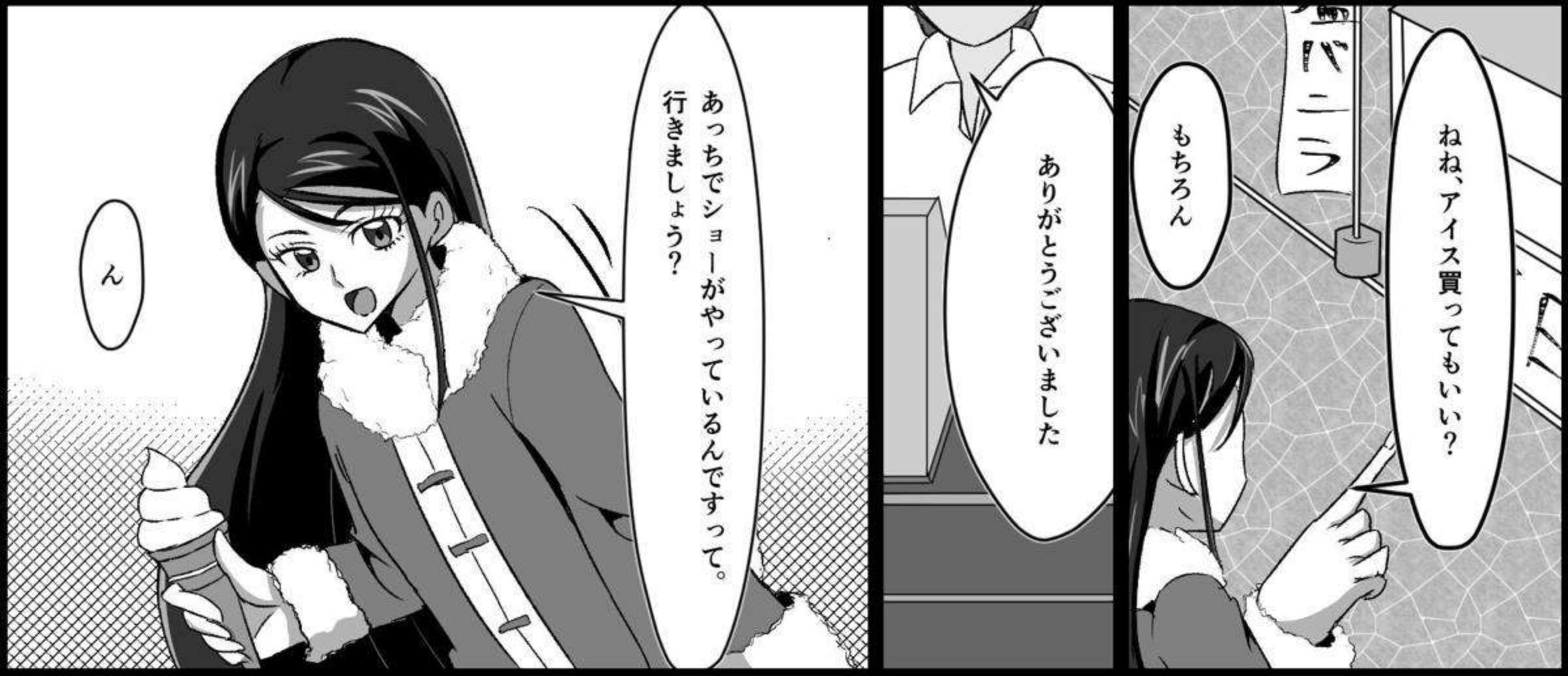
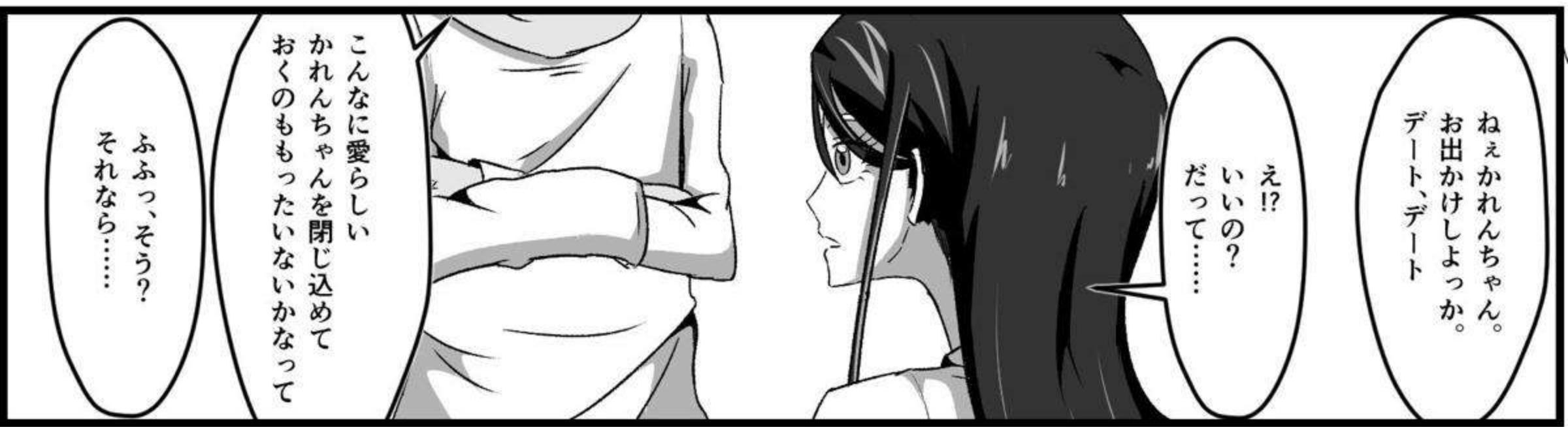
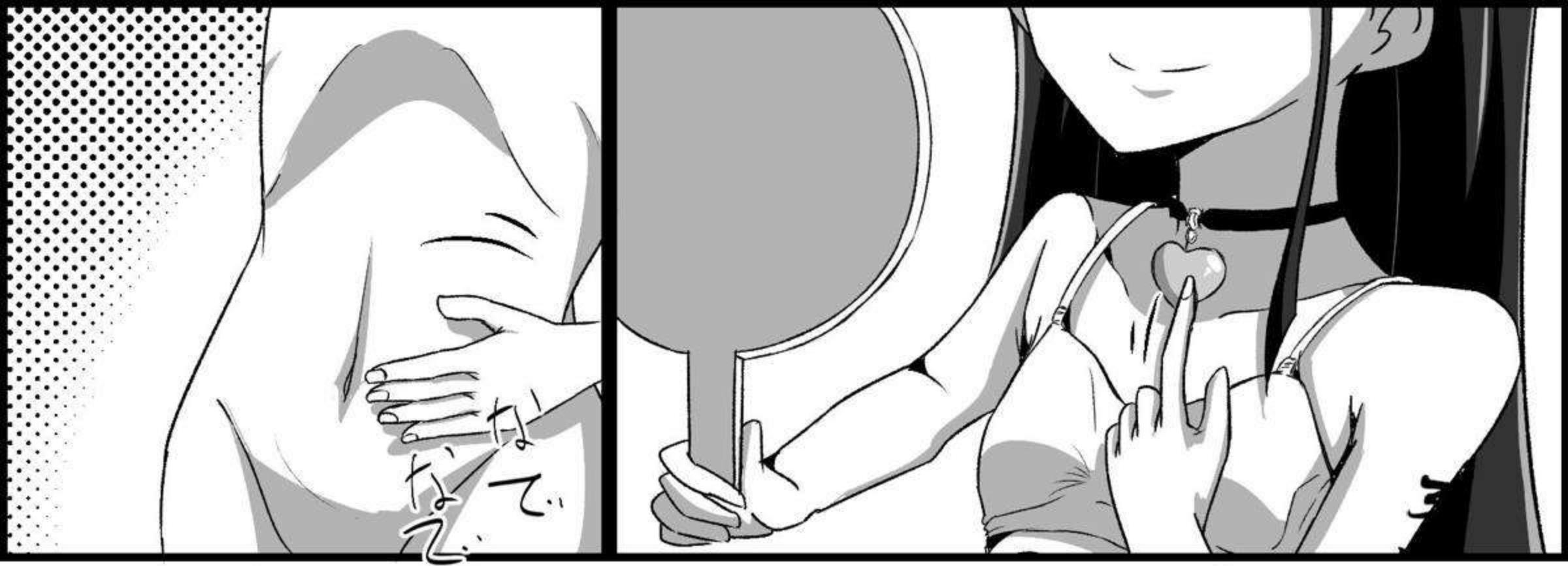
別にいいじゃん、こんな日くらい

これ、お酒？！

ええ、乾杯！

ほらつグラスもって！
乾杯！





あのイルカは餌の対価に
演技を披露しているの

ねえ、あなたはあのイルカが幸せだと思う？



んー？ さあ。

イルカも幸せとか感じるものなのかな？
かれんちゃんはどう思う？

あのイルカたちは自由と
引き換えに安寧を約束されたの

自分を脅かす外敵のいない、
だれにも傷つけられることない
穏やかな場所を……

私はきっと
幸せだと思うわ

ほんと？
ふふっ何にしようかしら

何かお土産買つ
てこうか。
なんでも買って
あげるよ

ええ。最後になっちゃったけど、
何か思い出に残しておくれのは
大切なことよ

なにこれ？
インスタントカメラ？

撮るわよ、3、2、1

ほらここに立って

あっ



Fujifilm



ほんと？
ふふっ何にしようかしら

何かお土産買つ
てこうか。
なんでも買って
あげるよ

ええ。最後になっちゃったけど、
何か思い出に残しておくれのは
大切なことよ

なにこれ？
インスタントカメラ？



ねえ、あの、最近生理が
来ないんだけど…

ん、そうなの？

それじゃあ明日の朝まで
に検査しといてね

ええ

陽性ですって

あらら

はじめは……
はじめはどうなるかと思つ
たけど、今は幸せよ、私。
このまま一生あなたと
この子とで――

できちやつたかー、
そろそろ潮時かね

え？

え、ええ

ほら、さっさとはいれ

まだ状況が呑み込めてないの？

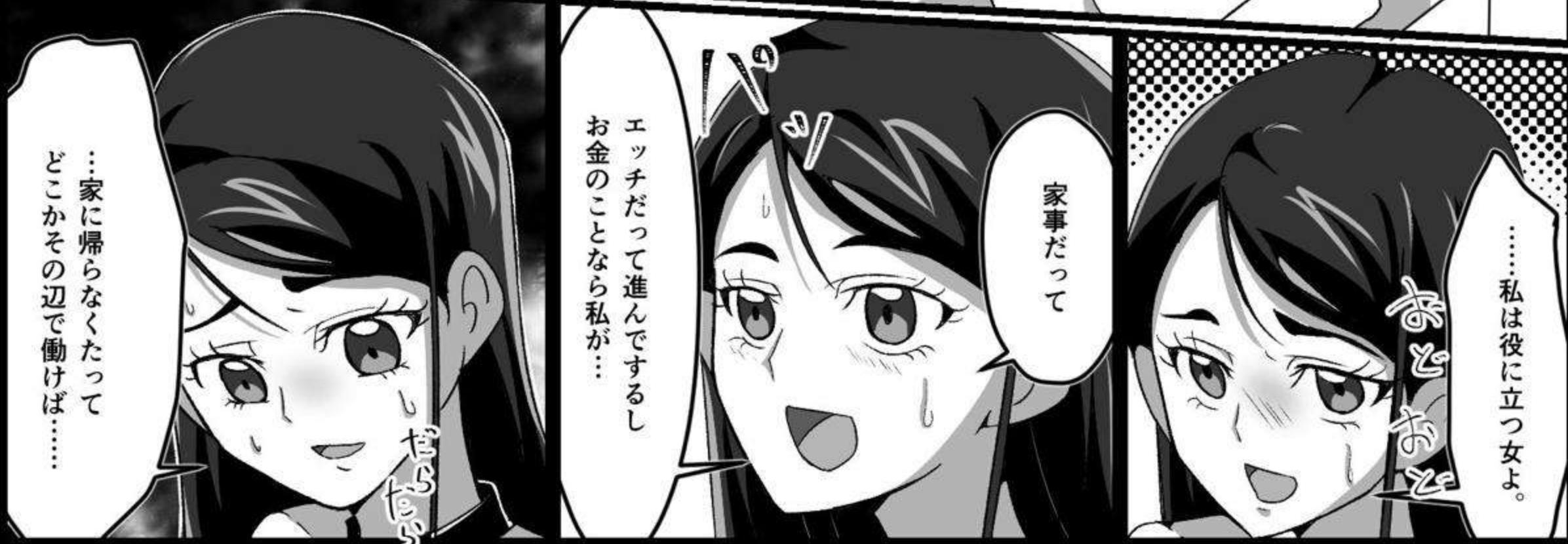
今からかれんちゃんを殺すんだよ

な、何の冗談？

ねえ、いったい何を――

いいから、早く

すわって



それって、たぶんすごく寂しいと思うの
私は、最後まであなたの側にいてあげたい
あなたを――

でも、もし、私がいなくなったら、
そうしたらあなたも一人ぼっちじゃない?

私のことを甚振るのが楽しいなら
好きにしていいの

……何も命惜しさにこんなこと
言っているわけじゃないのよ?

は?

……なにそれ

だから大丈夫よ
ね?

嘘じやない
だって、今、私がそう思つて
いるんだもの

あ?

ははは、かれんちゃん、
その気持ちは偽物だよだよ。
さつきも言つたけどそれは――

ひとつだけ:
どうしても
殺すなら

どうしても

……ねえ

そこは…!

……つ!
またいつも
みたいに

お願いよ――

……まだ戻れるから

最後にもう一度キスをして?

……つまんね。

つまんね

つまんね

つまんね

つまんね

つまんね

